

2027 年度 募集要項 編入学試験



愛知大学
AICHI UNIVERSITY

【 目 次 】

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)	P.1	入学手続	P.8
趣旨	P.3	合格発表に関するご案内	P.9
募集定員	P.3	奨学金制度	P.10
出願資格	P.4	学納金等	P.11
出願書類	P.5	出願書類	
入学検定料	P.5	■入学志願票(別紙①)	
出願受付	P.6	■入学検定料振込依頼書(別紙②)	
試験日・試験場	P.6	■写真票/入学検定料振込確認書貼付用紙(別紙③)	
選考方法・試験時間	P.6	■志望理由書(別紙④)	
注意事項	P.7	■専修学校専門課程修了(見込)証明書(別紙⑤)	
合格発表	P.8	■資格検定試験証明書等貼付用紙(別紙⑥)	
単位認定	P.8	■出願書類送付用宛名ラベル	

※本募集要項は冊子での配付をしておりませんので、各自で出願書類を印刷してください。

入学者受入方針(アドミSSION・ポリシー)

愛知大学では、「世界文化と平和への貢献」「国際的教養と視野をもった人材の育成」「地域社会への貢献」を建学の精神とし、「高い教養と専門的職能教育を施し、広く国際的視野をもって人類社会の発展に貢献しうる人材」の育成を全学の教育目標として掲げ、各学部・学科ごとに教育目標(教育研究上の目的)及び学位授与方針を定めています。本学では、これを達成するために、定められた教育課程に従い学修する資質、能力及び知識を備えた以下のような学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 建学の精神に即した人材として成長が期待できる学生。
- (2) 優れた能力や豊かな経験に基づく各学部専門教育への強い興味や関心、勉学意欲を持つ学生。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 高等学校において学ぶ各教科の基本的な内容について、幅広く理解していること。 (2) 自身が入学する学部・学科で学ぶ学問に関する書籍等に触れ、基礎的な知識を得ておくこと。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 地域や社会で起こっている事柄に幅広く関心を持ち、その原因や解決方法などを自分なりに考える習慣を持つこと。 (2) 自身の考えや意見を他者に分かりやすく伝えることができるような、表現力を養うこと。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 取り組むべき課題や解決が必要な諸問題に対して、他者とも協働し、主体的に取り組むことができること。 (2) 自分と異なる意見や考え方について肯定的に捉え、多様な人々と積極的にコミュニケーションが取れること。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜 基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課することを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜 出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜 調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

法学部 法学科

法学部では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 法や政治、さらに経済など、社会科学の扱うさまざまな事象への関心を持ち、社会正義や人権についての感覚を大切にしている人。
- (2) 法や政治、社会的な諸問題を構造的に理解した上で、その考えを応用してさまざまな問題に対処し、社会に貢献したいという強い意欲を有する人。
- (3) 国際的な観点からわが国の法及び政治の特徴や問題を分析したいという強い意欲を有する人。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 高等学校の各教科、とりわけ国語、地理歴史・公民、数学についての基本的学力。 (2) 外国語の基礎的な能力。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 論理的思考力。 (2) 自分の考えを相手に的確に伝えることができる能力。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 社会の動きや状況について関心を持ち続けることができること。 (2) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を有していること。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜/基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、複数の教科を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜/出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜/調査票(全体の学習成績の状況)、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

経営学部 経営学科

経営学部経営学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 企業、商品、市場の動向などダイナミックに変化している経済社会に強い関心をもった学生。
- (2) ビジネスや行政などの様々な領域で活躍し、社会に貢献することを考えている学生。
- (3) 国家資格等を取得して、特定の専門職のプロフェッショナルを目指そうとする学生。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 高等学校段階の国語、外国語、地理歴史、公民、数学等についての十分な、あるいは本学科での学習に円滑に移行することができる程度の基礎学力。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 高等学校段階程度の論理的思考力・判断力・表現力。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 様々な課題に積極的に取り組んできた能力。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜/基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために3教科以上課することを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜/出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜/調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

現代中国学部 現代中国学科

現代中国学部では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 中国に対して強い関心を持っている人。
- (2) 現地主義教育を通じて自ら成長したい人。
- (3) アジアを中心とした国際社会で活躍したい人。
- (4) グローバルな視野で社会貢献したい人。
- (5) 異文化体験を通して、自らが所属する文化・社会を理解したい人。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) バランスの良い基礎学力。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 物事を論理的に考え自分の考えを相手に説明できる能力。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 年齢、性別、国籍などの違いを越えて一緒に活動したり、話し合ったりできる力。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜/基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課することを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜/現代中国学部グローバル人材特別入試を実施し、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜/調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

経済学部 経済学科

経済学部では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 主体的に学習する意欲を持っている人。
- (2) 経済・社会に関心を持っている人。解決を必要とする問題を発見し自ら解決できる経済学の専門知識と教養を修得する意欲と実行力を持っている人。
- (3) 地域社会、国内外の社会で活躍、貢献したいと思っている人。
- (4) 他者への思いやりや公正さを重んじ、異なる考え方を尊重する、自立した社会人になりたいと思っている人。
- (5) 柔軟な思考力、創造力を備えるとともに、コミュニケーション能力や表現能力を高めたいと思っている人。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 基礎学力(高等学校の各教科、とりわけ、国語、数学、外国語、地理歴史、公民、理科の基礎学力)を有すること。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 基礎的な論理的思考力、的確な主張、文章の表現力を有すること。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 基礎的な会話・コミュニケーション能力を有すること。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜/基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課することを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜/出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜/調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

経営学部 会計ファイナンス学科

経営学部会計ファイナンス学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 企業活動、金融市場の動向などダイナミックに変化している経済社会に強い関心をもった学生。
- (2) 一般企業、行政及び教育などの様々な領域で活躍し、社会に貢献することを考えている学生。
- (3) 公認会計士、税理士及び国税専門官などの会計専門職を目指そうとする学生。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 高等学校段階の国語、外国語、地理歴史、公民、数学等についての十分な、あるいは本学科での学習に円滑に移行することができる程度の基礎学力。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 高等学校段階程度の論理的思考力・判断力・表現力。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 様々な課題に積極的に取り組んできた能力。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜/基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課することを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜/出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜/調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

国際コミュニケーション学部 英語学科

国際コミュニケーション学部英語学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 英語をはじめとする外国語を習得したい人。
- (2) 異文化理解に関心を持ち、異文化体験を通して視野を広げたい人。
- (3) 国際的な場での社会貢献をしたい人。
- (4) 企業の海外事業や国際流通部門、航空・旅行会社など、海外の人と関わる職業で活躍したい人。
- (5) 英語教師となり地域社会や教育の分野で自らの学びを還元したい人。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 英語学科での教育を受けるのに必要とされる高校卒業程度教育課程を修得している。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 物事を論理的に考え、自分の意見をわかりやすく説明しようと努力できる。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 主体的に学ぶ姿勢を身につける意欲がある。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜/基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、複数科目を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜/出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接、学科試験等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜/調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

国際コミュニケーション学部 国際教養学科

国際コミュニケーション学部国際教養学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 国際交流に意欲を持っている人。
- (2) 異文化理解に必要な知識や技能を積極的に吸収しようとする人。
- (3) 異なる社会・文化背景をもつ人々と積極的にコミュニケーションを取ろうとする人。

2. 入学前までに修得すべき能力

[知識・技能]

- (1) 国際教養学科での教育を受けるのに必要とされる高等学校の教育課程を修得している人。
- (2) アメリカ・アジア(日本を含む)・ヨーロッパをめぐる歴史、政治、経済、社会、文化、国際関係への関心をもち、必要な知識や技能を積極的に吸収しようとする人。

[思考力・判断力・表現力]

- (1) 現在の国際社会の様々な問題を多面的かつ論理的に考え、自分の意見をわかりやすく説明しようとする人。
- (2) 異文化理解を深めた上で、日本語・日本文化を海外に積極的に紹介したいと考えている人。

[主体性・多様性・協働性]

- (1) 多様な文化背景をもつ人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につける意欲をもった人。
- (2) 異文化を理解して国際社会や世界の中の地域社会において積極的に貢献したいと考えている人。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、複数科目を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜／調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部 人文社会学科

文学部人文社会学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 〔一般選抜〕高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、地理歴史、公民、数学について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
[学校推薦型選抜] 高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
- (2) 人間の様々な営みと活動について多様な興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、過去あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている人、また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。
- (3) 大学において学習、習得した人文学の専門的知識、視座、研究方法と、広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいという意思を有する人。

2. 入学前までに修得すべき能力

[知識・技能]

- (1) 人文・社会系の学問に関心があり、基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。

[思考力・判断力・表現力]

- (1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。
- (2) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。

[主体性・多様性・協働性]

- (1) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課すことを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜／調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部 日本語日本文学科

文学部日本語日本文学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 〔一般選抜〕高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、公民、数学、地理歴史について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
[学校推薦型選抜] 高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
- (2) 「日本語」「日本文学」「日本語表現」について興味や関心を抱いており、過去から現在、未来へと至る日本文化について思考・構想することに魅力を感じている人。また、それを思考・構想するための高度な知識や分析方法を習得したいという意欲のある人。
- (3) 大学において学習、習得した日本語・日本文学・日本語表現学に関する専門的知識や研究方法、広義のリテラシー能力を、将来的な自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいとする意志を有する人。

2. 入学前までに修得すべき能力

[知識・技能]

- (1) 日本語学や日本文学に関心があり、基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。

[思考力・判断力・表現力]

- (1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。
- (2) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。

[主体性・多様性・協働性]

- (1) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課すことを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜／調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

地域政策学部 地域政策学科

地域政策学部では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 故郷や住んでいる地域、自然環境を愛し、その変化に関心を持っている人。
- (2) 地域の問題や地方の課題を解決したいと思っている人。
- (3) 新しい政治や経済、行政のあり方を追求したい人。
- (4) 安全・安心で個性的なまちづくり・社会づくりに情熱を持っている人。
- (5) 知識の習得にとどまらず、豊かな人間性を育みたいと思っている人。
- (6) 世界の人々と交流し異文化体験を糧として成長したいと願っている人。

2. 入学前までに修得すべき能力

[知識・技能]

- (1) 地域政策学を学習するために必要な基本的な知識、読解力。
- (2) ワードプロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどの基本ソフトを操作する能力。

[思考力・判断力・表現力]

- (1) 基本的な知識・技能を踏まえた論理的思考力・判断力。
- (2) 地域の問題や政策課題について情報を収集し、分析し、表現する能力。

[主体性・多様性・協働性]

- (1) 目的意識・意欲をもち、継続的にものごとに取り組む能力。
- (2) 多様な考えを理解し、グループとしての意見を形成する能力。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、所定の教科・科目を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接、プレゼンテーション等の組み合わせにより総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜／調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

社会情報学部 社会情報学科

社会情報学部社会情報学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 知識を獲得することに喜びを感じることでできる学生。
- (2) 獲得した知識を基に物事を論理的に考えることでできる学生。
- (3) 客観的なデータ・論拠を基に的確な判断を下せる学生。
- (4) 現代社会における様々な問題に関心を持ち、問題解決に向けて主体的に取り組む意欲のある学生。

2. 入学前までに修得すべき能力

[知識・技能]

- (1) 高等学校段階の国語、外国語、地理歴史、公民、数学、理科、情報等についての十分な、あるいは本学部での学習を円滑に進めることができる程度の基礎学力。

[思考力・判断力・表現力]

- (1) 物事を論理的に考える姿勢。
- (2) 客観的な論拠に基づいて判断する姿勢。
- (3) 説得力のある表現を試みようとする姿勢。

[主体性・多様性・協働性]

- (1) 興味・関心のあることに主体的・積極的に取り組む力。
- (2) 他者との間で円滑にコミュニケーションがとれる力。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課すことを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜／調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部 歴史地理学科

文学部歴史地理学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 〔一般選抜〕高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、地理歴史、公民、数学について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
[学校推薦型選抜] 高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
- (2) 人間や社会の歴史的展開や、人々が生活する地理的環境などについて興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、あるいは過去、あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている人。また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。
- (3) 大学において学習、習得した歴史学・地理学の専門的知識、視座、研究方法と、広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいという意思を有する人。

2. 入学前までに修得すべき能力

[知識・技能]

- (1) 歴史学や地理学に関心があり、基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。

[思考力・判断力・表現力]

- (1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。
- (2) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。

[主体性・多様性・協働性]

- (1) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課すことを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜／調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部 心理学科

文学部心理学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 〔一般選抜〕高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、公民、数学、生物、地理歴史について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
[学校推薦型選抜] 高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
- (2) 人間の様々な営みと活動について多様な興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、あるいは過去、あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている人。また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。
- (3) 大学において学習、習得した心理学の専門的知識、視座、研究方法と、広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいという意思を有する人。

2. 入学前までに修得すべき能力

[知識・技能]

- (1) 心理学を学ぶために必要な基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。

[思考力・判断力・表現力]

- (1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。
- (2) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。

[主体性・多様性・協働性]

- (1) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課すことを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜／調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

短期大学部 ライフデザイン総合学科

短期大学部ライフデザイン総合学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 豊かな教養を求め、自国のことばや文化に関心の高い人。
- (2) 英語をはじめとする外国語の習得に強い意欲をもち、異文化理解に興味のある人。
- (3) 社会人・職業人になることを意識的に考え、それに向かって努力できる人。
- (4) 人と人、人と社会の関係などに問題意識をもち、自ら成長したいと思っている人。
- (5) 高校時代までにサークル活動、ボランティア活動等に熱中したことがあり、その経験を語る人。

2. 入学前までに修得すべき能力

[知識・技能]

- (1) さまざまな科目を広く学んだ基礎学力。
- (2) 日本語による会話・コミュニケーション能力。

[思考力・判断力・表現力]

- (1) 論理的思考力、的確な主張、文章の表現力。

[主体性・多様性・協働性]

- (1) 豊かな経験に基づく学習意欲。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、国語・英語を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜／調査票(全体の学習成績の状況)、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

1. 趣 旨

(1) 大学学部・短期大学・高等専門学校を卒業（見込みを含む）した者、(2) 大学学部にて2年以上在学した者、(3) 専修学校の専門課程を修了（見込みを含む）した者のうち大学に編入学する資格を有する者で、今までに修得した学力をさらに発展・充実させるため、強い意思と勉強意欲を有する者を選抜する。

2. 募集定員

学部	学科	コース・専攻		募集 定員	入学 校舎	入学 年次
法学部	法学科	司法コース 企業コース 行政コース		若干名	名古屋	3 年 次
経済学部	経済学科	産業経済・ファイナンスコース 公共経済・経済政策コース 地域経済・グローバルコース		若干名		
経営学部	経営学科	ビジネス・マネジメントコース 流通・マーケティングコース データサイエンスコース 国際ビジネスコース		若干名		
	会計・ファイ ナンス学科	アカウンティングコース ファイナンスコース ビジネスデザインコース		若干名		
現代中国学部	現代中国 学科	ビジネスコース 言語文化コース 国際関係コース		若干名		
国際コミュニケーション 学部	英語学科	Language Studiesコース Businessコース Educationコース		若干名		
	国際教養 学科	アメリカ研究コース 日本・アジア研究コース ヨーロッパ研究コース		若干名		
文学部	人文社会 学科	現代文化コース	東アジア文化専攻 哲学専攻 図書館情報学専攻 現代芸術専攻	若干名	豊橋	
		社会学コース	社会学専攻			
		欧米言語文化コース	現代国際英語専攻 ドイツ語圏文化専攻 フランス語圏文化専攻			
	歴史地理 学科	日本史学専攻 世界史学専攻 地理学専攻		若干名		
	日本語日 本文学科	日本語日本文学専攻		若干名		
	心理学科	心理学専攻		若干名		
地域政策学部	地域政策 学科	公共政策コース 経済産業コース まちづくり・文化コース 健康・スポーツコース 食農環境コース		若干名		

3. 出 願 資 格

次の（１）～（３）いずれかの項目に該当し、加えて（４）～（７）いずれかの条件を有する者。

（外国人留学生は（１）～（３）いずれかの項目に該当し、加えて（８）に該当する者）

- （１）２０２７年３月までに大学学部・短期大学・高等専門学校を卒業（見込みを含む）した者。ただし、本学で取得できる学位と既に修得している（見込みを含む）学位が同一の場合は出願不可。
- （２）２０２７年３月までに大学学部で２年以上在学（休・停学期間は含まない）し、６２単位（卒業要件単位数）以上修得した者または修得見込みの者。
- （３）専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣が定める基準（専門課程の修業年限が２年以上でかつ課程の修了に必要な総授業時間数が１，７００時間以上であること）を満たす課程を、２０２７年３月までに修了した者および修了見込みの者。ただし、学校教育法第９０条の規定する大学入学資格を有する者に限る。
- （４）法学部、経済学部、経営学部、国際コミュニケーション学部、地域政策学部は、英検（実用英語技能検定）合格者または出願開始日より２年以内に TOEIC®L&R または TOEFL-iBT®を受験した者で、合格もしくはスコアを証明する書類を提出できる者。
- （５）現代中国学部は、中国語検定試験３級以上合格者または HSK４級以上合格者で、合格を証明する書類を提出できる者。
- （６）文学部は、各学科、専攻に定められた資格検定試験に基づき、英検（実用英語技能検定）、中国語検定試験、ドイツ語技能検定試験、実用フランス語技能検定試験の級、または出願開始日より２年以内に TOEIC®L&R または TOEFL-iBT®を受験し、スコアを証明する書類を提出できる者。

【学科、専攻別資格検定試験一覧表】

	英語 英検・TOEIC®L&R・ TOEFL-iBT®	ドイツ語 ドイツ語 技能検定試験	フランス語 実用フランス語 技能検定試験	中国語 中国語 検定試験
人文社会学科				
東アジア文化専攻	○			○
哲学専攻	○	○	○	
図書館情報学専攻、 メディア芸術専攻、社会学専攻	○	○	○	○
現代国際英語専攻	○			
ドイツ語圏文化専攻		○		
フランス語圏文化専攻			○	
歴史地理学科				
日本史学専攻、世界史学専攻	○	○	○	○
地理学専攻	○			
日本語日本文学科	○	○	○	○
心理学科	○			

（７）上記（４）～（６）と同等以上の資格があると本学が認めた者。

（８）外国人留学生は日本語能力試験 N 1 合格者。

【資格検定試験に関する注意事項】

※英検、ドイツ語技能検定試験、実用フランス語技能検定試験、中国語検定試験の級や合格年月日の制限はありません。ただし、現代中国学部における、中国語検定試験、HSK については、級の制限があります。詳細は、「出願資格（５）」をご確認ください。

※英検（実用英語技能検定）は、英検 S-CBT（英検 CBT 含）も可。

※TOEIC®-IP（団体特別受験制度）または TOEFL-ITP®（団体向けテストプログラム）、TOEFL-iBT® Home Edition は対象となりません。

※2026年1月21日以降の TOEFL-iBT®の受験者は、参考値として記載されているスコアにて評価します。

※外国人留学生は、一定以上の日本語能力（日本語能力試験 N1 合格）を必要とします。「日本語能力試験 N1」の合格およびスコアを証明する書類を提出する必要があります。

※資格検定試験の成績は本学独自の方法で換算し、外国語の得点とします。また、複数のスコアが提出された場合には、換算の結果、得点の最も高いものを採用します。

※外国語資格検定試験は実施日や実施会場が限られています。各試験の結果が送られるまでの日数も考慮のうえ、早めに受験してください。

※本学学部在学学生は出願することができません。

※入学手続完了者でも卒業（修了）要件単位数等を満たさない場合には編入資格を失います。

以下①②に該当する者は、出願に先立ち必ず企画部入試課（052-937-8113）へ受験資格の有無を確認してください。

①日本人で外国の大学等を卒業（見込みを含む）した者。

②外国人留学生（ただし日本の大学等に在籍したことがない者は出願することができません）。

4. 出 願 書 類

書類	内容	別紙
(1) 入学志願票	本学所定用紙・自筆・写真貼付	①
(2) 写真票/入学検定料 振込確認書貼付用紙	写真票は、本学所定用紙・自筆・写真貼付。 別紙②C票（入学検定料振込確認書）を所定欄へ貼付。	③
(3) 志望理由書	現代中国学部、国際コミュニケーション学部、文学部、 地域政策学部志願者のみ提出。 本学所定用紙・自筆・800字以内	④
(4) 成績証明書	出身大学（または短期大学・高等専門学校・専修学校）長が交 付したもの（厳封）。	
(5) 履修登録書	出願時に履修中の科目がある者のみ提出。 出願時に履修中のため、成績や単位数が成績証明書に記載され ない科目がある場合は、履修登録書など、履修中の科目と単位 数が確認できる書類を提出（コピー、自己で作成したものも 可）。	
(6) 卒業(修了)証明書 または 卒業(修了)見込証明書 または 在学期間証明書	出身大学（または短期大学・高等専門学校・専修学校）長が交 付したもの。 大学中途退学者または現在四年制大学に在籍し、2年次までの 課程を修了（見込みを含む）した者は <u>在学期間証明書</u> （注：在籍 証明書ではありません）を提出。	
(7) 専修学校専門課程修了 (見込) 証明書	「出願資格(3)」に該当する者のみ提出（厳封）。 本学所定用紙を使用し専修学校長より交付を受けたもの。	⑤
(8) 資格検定試験証明書等 貼付用紙	「出願資格(4)(5)(6)(8)」に該当する者は以下の書類のコ ピーを貼付し提出。 ①英検（英検S-CBT（英検CBT含）も可）、中国語検定試験、 HSK、ドイツ語技能検定試験、実用フランス語技能検定試験、日本 語能力試験N1合格者……合格証明書 ②TOEIC®L&R受験者…Official Score Certificate（公式認定証） ③TOEFL-iBT®受験者…Test Taker Score Report （受験者用控えスコアレポート）	⑥
(9) 住民票の写し（原本）	外国籍の方のみ提出（コピー不可）。 在留資格、在留期間が記載されているものを提出。	
(10) その他本学が必要と 認めた書類	—	

※提出書類を番号順（1）～（10）に揃え、クリップでとめてください（ホチキス等使用不可）。
※提出された出願書類に不備があった場合、本学から連絡します。

5. 入学検定料

金融機関窓口で納入してください。

入学検定料	35,000円
納入期間	2026年9月18日（金）～ 9月28日（月）《最終日収納印有効》 ※出願書類提出期限と異なるため、ご注意ください。
納入方法	金融機関窓口のみ ・別紙②のA票（入学検定料振込依頼書）・B票（入学検定料領収書）・C票（入学検定料振 込確認書）を切り離さずに 金融機関窓口にて「電信扱」 で納入してください（ A T Mからは 振り込まないでください ）。 ・振込手数料は個人負担となります。 ・納入後、B票・C票に取扱金融機関収納印が押されていることを確認してください。 ・B票は領収書になりますので大切に保管してください。 ・入学検定料納入後、C票は別紙③入学検定料振込確認書貼付用紙に貼付し、他の出願書類と 併せて大学へ送付してください。

6. 出 願 受 付

出願期間 (郵送のみ)	2026年9月18日(金)～9月29日(火)《必着》
----------------	----------------------------

出願は郵送に限ります。市販の角形2号封筒(A4サイズ書類が入るもの)を用意し、封筒に**出願書類送付用宛名ラベル**を貼り付けてください。出願書類一式を封入し出願期間中に郵便局窓口にて「**簡易書留速達**」で郵送してください(ポストへの投函不可)。入学検定料の支払いが済んでいないもの、出願期間を過ぎたものは受理できません。**出願書類は最終日必着です。消印有効ではありませんのでご注意ください。**

送付先：〒461-8641 名古屋市東区筒井二丁目10-31 愛知大学企画部入試課

受験票 発送予定日	2026年10月8日(木) 一括発送 ※普通郵便で発送しますので、お手元に届くまで数日かかる場合があります。 ※受験票が届かない場合は、試験2日前までに企画部入試課へお問い合わせください。 TEL: 052-937-8112・8113
--------------	--

7. 試験日・試験場

試験日	2026年10月18日(日)	
試験場	法学部、経済学部、経営学部 現代中国学部、国際コミュニケーション学部	名古屋校舎
	文学部、地域政策学部	豊橋校舎

8. 選考方法・試験時間

【法学部、経済学部、経営学部】

資格検定試験、小論文により、総合判定して合格者を決定します。

集合時間	9時40分	
選考方法	試験時間	配点
資格検定試験		150点
小論文	10時00分～11時20分(80分)	100点

※「資格検定試験」については、P.4「3. 出願資格」をご確認ください。

【現代中国学部、国際コミュニケーション学部、文学部、地域政策学部】

資格検定試験、小論文、個人面接により、総合判定して合格者を決定します。

集合時間	9時40分	
選考方法	試験時間	配点
資格検定試験		150点
小論文	10時00分～11時20分(80分)	100点
個人面接	12時30分～(1人10分程度)	80点

※「資格検定試験」については、P.4「3. 出願資格」をご確認ください。

9. 注意事項

(1) 試験当日の持ちもの

受験票	・受験票は試験時間中、座席カード（受験番号表示）の下に置いてください。 ・受験票を忘れた場合は、試験開始前に試験場本部まで申し出てください。 ・受験票の住所、氏名等に間違いがある場合は、試験2日前までに企画部入試課に連絡するか試験当日に試験場本部に申し出てください。
筆記用具	・HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴムを持参してください。 ・下敷き、定規、コンパスの使用は認めません。
時計	・試験室には時計がありませんので各自で持参してください。 ・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の通信機能や辞書機能を持つもの、またそれらの機能の有無が判別しづらいものを時計として使用することはできません。
昼食	・必要に応じて昼食を持参してください。

(2) 試験当日の注意

- ・試験場を間違えると受験できなくなりますので、充分注意してください。
- ・9時40分までに入室し、着席してください。
- ・試験開始後20分を超えて遅刻した場合は受験できません。万一、やむを得ず遅刻する場合は、試験開始前までに受験票記載の連絡先に連絡してください。なお、交通トラブル等により遅刻する場合は各公共交通機関が発行する遅延証明書を必ず取得してください。
- ・試験中の途中退室は認めません。試験中気分が悪くなった場合は監督者に申し出てください。
- ・休憩時間等、試験室の外に出る際には、必ず受験票を携帯してください。
- ・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってかばんにしまってください。試験開始後に操作した場合は不正行為とみなします。
- ・他の受験者の迷惑となる行為や監督者等の指示に従わない場合は、不正行為となることがあります。
- ・机の上に置けるものは、受験票の他に黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計、メガネ、ハンカチ、袋から出したティッシュペーパー、目薬です。また、ひざ掛けや上着等は、試験実施に影響の無いもの（過度な英文字や地図等のプリントが無いもの）であれば使用できます。
- ・各試験場とも前日の問い合わせ等の受付窓口は開設しません。また、試験場建物内の下見はできません。
- ・大雪、地震、津波、台風、洪水等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰り下げ（試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻も変更になること、また試験時間を確保するために休憩時間を調整することがあります）、試験の延期等の措置をとることがあります。ただし、それによって生じた受験者負担の費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。
- ・試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せなど、航空機・鉄道・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置はありません。
- ・「学校保健安全法」で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等）に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない者は受験できません。該当する場合は、試験当日の午前10時までに受験票記載の連絡先へお申し出ください（罹患の場合、後日、感染を証明する診断書等の提出が必要となります）。なお、追試験は実施しません。
- ・発熱や咳等の症状がある受験者はあらかじめ医療機関での受診を行ってください。また、試験場で発熱や咳等の症状がある受験者には、試験監督等から座席の移動や試験室の変更をお願いする場合があります。

(3) その他の注意

- ・いったん受理された書類および納入された入学検定料は、原則返還しません。
- ・出願後の志願学部・学科・コース等の変更は一切認めません。
- ・障がい等により、受験・修学に際して特別な配慮を必要とする場合は、8月31日（月）までに必ず企画部入試課へお問い合わせください。申請手続を説明し、必要書類をお送りします。本学の入学試験における特別措置は原則として大学入学共通テストでの措置内容に準じ、可能な限り対応します。また、出願後の不慮の事故等により、受験時に特別な配慮を必要とする場合も速やかにお問い合わせください。

※入学手続完了者でも卒業（修了）要件単位数等を満たさない場合には編入資格を失います。

10. 合格発表

発表日	2026年11月2日(月) 10時00分～
-----	-----------------------

- ・本学では合格発表に「オンライン合否照会」ページを使用します。P. 9の案内に従って合否照会を行ってください。
- ・別途合格通知書および入学手続書類の郵送はありませんので、ご注意ください。
- ・合否に関する本学へのお問い合わせには一切応じません。

利用上の注意

- ・本システムでの「誤動作」「見間違い」等を理由とした入学手続の遅れは認められません。
- ・合否照会は利用期間外は利用できません。
- ・サービス開始直後はアクセスが多くつながりにくい状態が予想されます。その場合はしばらく時間を置いてからアクセスしてください。
- ・パソコン等の性能やインターネットへの接続方法などで、表示に時間がかかる場合があります。
- ・合否の結果に関し、電話等でのお問い合わせは受け付けません。
- ・パソコン等のブラウザ設定によっては、画像のずれ、文字化けなどが発生する場合があります。その場合はブラウザを調整してください。

11. 単位認定

- (1) 出身学校での既修得単位について、62単位を上限に単位認定します。ただし、専修学校（専門課程）から経済学部への3年次編入は50単位が上限です。
- (2) 編入学後、教職・博物館学芸員・司書課程の受講を希望する場合は、資格課程科目の認定を行います（博物館学芸員・司書の各課程は豊橋校舎での開講です）。

12. 入学手続

合格者の入学手続は、第一次入学手続と第二次入学手続に分かれています。それぞれの期限内に所定の手続きをしてください。なお、入学手続の詳細は、合格発表日以降、「マイページ」にて「入学案内」を取得しご確認ください。

区分	期限	内容
第一次入学手続	2026年11月 9日(月)	入学金納入
第二次入学手続	2026年12月22日(火)	授業料等納入
	2026年12月22日(火) 15時00分	学籍関連情報・写真登録
	2027年 3月 5日(金)《消印有効》	入学手続書類提出 ^(※)

(※) 入学手続書類として、卒業（修了）証明書、成績証明書等をご準備いただく必要があります。

重要

合格発表に関するご案内

愛知大学の「合格発表」はオンライン合否照会ページを通じて行います。
受験番号をご用意の上、以下の案内に従ってご確認ください。

STEP 1 オンライン合否照会ページにアクセス

方法①

愛知大学受験生向けサイトのTOPページからの遷移

TOPページにある合格発表バナーを選択
(URL: <https://adm.aichi-u.ac.jp/>)

方法②

QRコードの読み込み

スマートフォン等で右記のQRコードを読み込む
※10月中旬以降アクセス可能となります。

方法①



方法②



オンライン合否照会

STEP 2 認証ページ

オンライン合否照会ページの認証画面へ進み受験番号と生年月日を入力

【注意事項】

受験番号 (半角英数字)

受験票に記載のある6桁を入力

生年月日 (半角数字)

生年月日を8桁で入力

(例: 2008年1月15日 → 20080115)

※0を含めた形で入力してください

STEP 3 合否照会

合否の確認

下記画面はイメージです。実際の画面と異なる可能性があります。

オンライン合否照会		
現代中国学部グローバル人材特別入試		
合格	学部学科	受験番号
	現代中国学部 現代中国学科	91L001

オンライン合否照会		
現代中国学部グローバル人材特別入試		
不合格	学部学科	受験番号
	現代中国学部 現代中国学科	91L001

STEP 4 入学手続 (合格者のみ)

愛知大学受験生向けサイトから入学手続専用「マイページ」へ遷移

※遷移後は案内に従って手続きを進めてください。



【注意事項】
STEP 2と同様となります
※パスワードは生年月日をご入力ください

13. 奨学金制度

●教育ローン援助奨学金

日本政策金融公庫等が取り扱う教育ローンを利用して、学納金等（入学金を含む）を期限内に納付した場合、奨学金を給付する制度です。教育ローン契約者は、父母またはそれに代わる人のいずれかに限ります。教育ローンの利子のうち、在学中（最短修業年限内）は利子の一部（上限5%）を奨学金として給付します。また、教育ローン利用契約時に別途保証料を支払った場合については、その保証料を採用初年度に限り、10万円を限度に給付するものです。申請時期は5月または10月です。

●日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構は、国および社会にとって有用な人材を育成することを目的とし、成績が平均水準以上で経済的な理由により奨学金を必要とする学生に対して学資を貸与します。申込説明会は4月、決定時期は6月を予定しています。

●高等教育の修学支援新制度

(参考：2026年度実績)

貸与種別		第一種奨学金(無利息)		第二種奨学金(有利息)
		自宅通学	自宅外通学	短大・学部とも 20,000円から120,000円までの中から 1万円単位で選択
貸与月額	学部	20,000円、30,000円、 40,000円、54,000円から選択	学部 20,000円、30,000円、 40,000円、50,000円、 54,000円、64,000円から選択	
	短大	20,000円、30,000円、 40,000円、53,000円から選択	短大 20,000円、30,000円、 40,000円、50,000円、 53,000円、60,000円から選択	
主な 成績基準	1年次	高等学校又は専修学校高等課程の成績が3.5以上の者		出身学校における学業成績が平均水準以上の者
	2年次 以上	大学における学業成績が本人の属する学部(科)の上位1/3以内の者		大学における学業成績が平均水準以上の者
貸与始期		4月		4月
返還方法等		卒業後に無利息で返還する		卒業後に年利率3%を上限とした利息を上乗せして返還する(在学中は無利息)

本学は、国による「高等教育の修学支援新制度」対象機関として認定されています。学業成績や家計に係る基準を満たす対象者は、本学在学中に支援を受けることができます。申込説明会は、入学後毎年春および秋を予定しています。

制度の詳細は、文部科学省のHP (<https://www.mext.go.jp/kyufu/>) にてご確認ください。

●学業奨励金(給付)

2年次以上を対象に、前年度に修得した科目の単位数および成績に基づき審査を行い、学業成績が特に優れた学生に対して給付します。採用人数は131名。

金額	申請・給付時期
授業料半額相当額	給付時期：春学期分6月、秋学期分11月を予定 (春秋ともに申請不要) (注)

(注) 採用決定は大学が行います。なお、奨学金を受給するには手続書類の提出が必要です。

●応急奨学金(給付)

主たる家計支持者の死亡・失職・災害等によって家計が急変し、学業の継続が困難になった学生を対象とします。なお、出願事由は入学後を対象とします。

金額	申請・給付時期
申請した学期の学費(授業料および教育充実費)相当額	出願事由発生後6か月以内

14. 学納金等

●学納金（2027年度編入学生）

（単位：円）

種別		学部	法 学 部 経 済 学 部 経 営 学 部	現代中国学部 国際コミュニケーション学部	文 学 部	地域政策学部
入学金	第一次入学手続		200,000	200,000	200,000	200,000
	授業料	第二次入学手続	370,000	400,000	380,000	370,000
	教育充実費		145,000	145,000	100,000	100,000
	入学手続時納入額	第一次入学手続計	200,000	200,000	200,000	200,000
		第二次入学手続計	515,000	545,000	480,000	470,000
授業料			370,000	400,000	380,000	370,000
	教育充実費		145,000	145,000	100,000	100,000
	秋学期計（納入期限：2027年9月15日）		515,000	545,000	480,000	470,000

注意事項

- ① 詳細は、後日案内する入学手続書類をご確認ください。
- ② 本学では、入学前に寄付金・学校債等の募集は行っておりません。入学後に教学組織および教育環境の整備・充実、学生支援活動の充実・強化、社会貢献活動の推進等を使途とした募金（寄付金）を学生の保証人の方をお願いしておりますが、応募は任意です。
- ③ 学納金のうち、授業料および教育充実費については学期毎に納入することになります。
- ④ いったん納入された学納金は返還しません。ただし、所定の期日までに入学辞退の手続きをした場合、入学金を除く入学手続時納入金を返還します。
- ⑤ 次の学部・学科・専攻・コースは実習費の納入が必要です。

（単位：円）

学部・学科・専攻・コース		種 別	金 額	納入時期
文学部	人文社会学科 東アジア文化専攻 哲学専攻 図書館情報学専攻 メディア芸術専攻	表現実習費	10,000	第二次入学手続
	メディア芸術専攻	実験実習費	60,000	入学年次以降毎年（※）
	社会学専攻	調査実習費	20,000	第二次入学手続
	歴史地理学科 地理学専攻	調査実習費	10,000	第二次入学手続
	心理学科	実験実習費	50,000	入学年次以降毎年（※）
	地域政策学部 食農環境コース	実験実習費	50,000	第二次入学手続

（※）文学部人文社会学科メディア芸術専攻と心理学科の実験実習費については、上記金額を春学期と秋学期の2回に分けて納入することになります。なお、第二次入学手続の際に入学年度の春学期分を納入いただきます。

4年次の学納金について

授業料：10,000円増額となります。

※上記の学納金は、学則の改正にともない変更する場合があります。

●委託徴収金（2027年度編入学生）

委託徴収金は本学が関係諸団体から依頼を受け徴収するものです。（単位：円）

種別		学部
		法 学 部 経 済 学 部 経 営 学 部 現代中国学部 国際コミュニケーション学部 文 学 部 地 域 政 策 学 部
後援会・同窓会費	入学手続時1回のみ	40,000

※金額は変更となる場合があります。必ず「入学案内」をご確認ください。

本学（短大除く）出身者で、既に納入済みの場合は不要です。ただし、本学短期大学部出身者で納入済みの場合は20,000円となります。

【交通アクセス】

名古屋校舎

(法学部・経済学部・経営学部・現代中国学部・国際コミュニケーション学部・社会情報学部*)

*2027年4月開設予定

名古屋市中村区平池町四丁目60-6 TEL 052-564-6111(代表)

<アクセス>

〔鉄道〕 「名古屋」駅より徒歩約10分

あおなみ線「ささしまライブ」駅下車(名古屋駅より乗車時間1分)

※大学まで歩行者デッキで直結

豊橋校舎

(文学部・地域政策学部・短期大学部)

愛知県豊橋市町畑町1-1 TEL 0532-47-4111(代表)

<アクセス>

〔鉄道〕 豊橋鉄道渥美線「愛知大学前」駅隣接(新豊橋駅より乗車時間6分)

入学試験当日は、天候や事故などにより、予期せぬ公共交通機関の遅延などが発生する可能性があります。そのため、試験場までの複数の移動手段、代替ルートを事前に想定することをおすすめします。また、早めに試験場に到着するように心がけてください。試験当日、以下のURLにて緊急時の本学の対応措置についての情報が確認できます。

受験生向けサイト(パソコン・スマートフォン) <https://adm.aichi-u.ac.jp/>



<個人情報の取扱いについて>

出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は、

(1)入学試験の実施(出願処理・試験の実施等)

(2)入学手続、各種案内

(3)入学者選抜方法改善及び広報改善のための調査・アンケート

とこれらに付随する事項を行うために利用します。上記以外の目的で、本学が志願者本人に通知することなく個人情報を利用することはありません。

なお、本学は上記利用目的のため、その業務の一部を本学が定める個人情報取扱の基準を満たす業者(以下、「委託業者」という)において行います。業務を委託するに当たり、委託業者に対して委託業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部を提供します。提供に際しては、委託業者に対しても、契約により適切な管理を義務付けています。予めご了承ください。

感染症や災害等の影響によって、予定している試験が実施困難と判断される場合、内容を一部変更し、実施する可能性があります。なお、変更内容は決定次第、速やかに受験生向けサイトにてお知らせします。

企画部入試課

〒461-8641 名古屋市中区筒井二丁目10-31
TEL(052)937-8112・8113(直通)(平日9時~17時)

※受験及び修学上、特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち必ず企画部入試課までお問い合わせください。

2027年度愛知大学入学志願票 編入学試験

別紙①

裏面の記入上の注意をよく読んでから、※欄以外を黒ボールペンで正確に記入してください。

受験番号	※										※									
フリガナ (18文字以内)																				
氏名 (姓6文字以内、名6文字以内)																				
生年月日	西暦		年		月		日		性別	男：1		女：2								
出身高校等	都道府県										学校									
志望学部・学科・コース・専攻														コード						
学部														学科						
														コース 専攻						
出身学校・学部・学科・専攻・コース等																				
														※						
														※						
卒業・修了(見込)年月				資格検定試験										コード						
昭和 平成 令和 1. 年次修了 2. 年次修了見込 3. 卒業 4. 卒業見込				英検・TOEIC®L&R・TOEFL-iBT®										1						
				ドイツ語技能検定										2						
				実用フランス語技能検定										3						
				中国語検定・HSK										4						
				【外国人留学生】日本語能力試験(N1)										5						
志願者連絡先	〒																			
	(都道府県)																			
	TEL① (必須)																			
	TEL②																			
メールアドレス (必須)																				
合				1										2						
※				※										※						
※																				

写真貼付欄

全面のり付け

提出前3ヶ月以内に撮影
上半身・正面・脱帽
縦4.0cm×横3.0cm
写真裏面に氏名・志願
学部名を記入したもの

下部のコード表を参照し、記入してください。

P3を参照し、コースまたは専攻を記入してください。

出願資格にある複数の学校を卒業（見込みも含む）した場合は、全ての学校を記入してください。

※

※

志願者連絡先は、受験票等の送付先住所、電話番号及びメールアドレスを記入してください。

住宅名（マンション、団地等）、棟、部屋番号、下宿先名（寮等）は住所欄の3行目に記入してください。

1行目の余りマスに次の語句が書ききれない場合はその余りの部分を空白とし、2行目の始めから書き入れてください。

電話番号は志願者本人と連絡が取れる番号にしてください。

＜コード表＞

学部・学科	コード
法学部	16
経済学部	21
経営学部	
経営学科	35
会計ファイナンス学科	39
現代中国学部	11
現代中国学科	
国際コミュニケーション学部	
英語学科	91
国際教養学科	95

学部・学科・コース・専攻	コード
人文社会科学部	
現代文化コース	
東アジア文化	41
哲学	42
図書館情報学	43
メディア芸術	44
社会学コース	
社会学	45
欧米言語文化コース	
現代国際英語	53
ドイツ語圏文化	54
フランス語圏文化	55
歴史地理学科	
日本史学	48
世界史学	49
地理学	50
日本語日文学科	
日本語日文学	51
心理学科	
心理学	47

学部・学科・コース	コード
地域政策学部	
公共政策	71
経済産業	72
まちづくり・文化	73
健康・スポーツ	75
食農環境	76

メールアドレスは出願や入学の手続に関わる連絡をすることがありますので、正確に記入してください。

入学志願票記入上の注意

記入例

- ※欄を除くすべての項目を志願者が記入してください。
- 訂正は二重線で行い、訂正印を押印してください。出願後の内容変更は一切認めません。

2027年度愛知大学入学志願票 編入学試験

別紙①

裏面の記入上の注意をよく読んでから、※欄以外を黒ボールペンで正確に記入してください。

受験番号	※		※	
フリガナ (18文字以内)	アイタ イ ハナコ			
氏名 (姓6文字以内、名6文字以内)	愛大		花子	
生年月日	西暦 2006 年 5 月 7 日		性別	男:1 女:2
出身高校等	愛知 都道 県 名古屋東高等 学校			
志望学部・学科・コース・専攻				コード
経済 学部				21
経済 学科				
経済分析				コース 専攻
出身学校・学部・学科・専攻・コース等				
西海経済大学短期大学部 経済学科情報コース				※
卒業・修了(見込)年月				資格検定試験
昭和 平成 9 年 3 月 令和				英検・TOEIC®L&R・TOEFL-iBT® ①
1. 年次修了 2. 年次修了見込 3. 卒業 ④ 卒業見込				ドイツ語技能検定 2
				実用フランス語技能検定 3
				中国語検定・HSK 4
				【外国人留学生】日本語能力試験(N1) 5
〒 4 6 0 - 0 0 0 0				
愛知 県 名古屋市東区天神町白壁				
4 丁目 5 6 - 7 7				
コーポ緑ヶ丘B-320				
TEL① (必須) ××× - △△△ - □□□□				
TEL② ○○○ - ××× - △△△△				
メールアドレス (必須) aichidaigaku @ ○○○○.co.jp				
合		1		2
※		※		※
※		※		※

写真貼付欄

全面のり付け

提出前3ヶ月以内に撮影
上半身・正面・脱帽
縦4.0cm×横3.0cm
写真裏面に氏名・志願
学部名を記入したもの

写真の貼り
忘れに注意

フリガナは18文字以内、姓と
名の間はスペースを開けてく
ださい。スペース、濁点、半
濁点も1文字とします。

氏名は住民票記載の氏名を、
姓6文字以内、名6文字以内で
記入してください。

ただし、受験票や合格通知書
に記載される氏名は原則とし
てJIS第2水準までのものを
使用しますので、規格にない漢
字は類字を使用することがあ
ります。

また、外国籍の志願者で入学
後に通称名の使用を希望す
る場合は、住民票記載の通称名
を記入してください。

下部のコード表を参照し、
記入してください。

P3を参照し、コースまた
は専攻を記入してくださ
い。

出願資格にある複数の学
校を卒業(見込みも含
む)した場合は、全ての
学校を記入してください。

志願者連絡先は、受験票等の
送付先住所、電話番号及び
メールアドレスを記入してく
ださい。

住宅名(マンション、団地
等)、棟、部屋番号、下宿先
名(寮等)は住所欄の3行目
に記入してください。

1行目の余りマスに次の語句
が書ききれない場合はその余
りの部分を空白とし、2行目
の始めから書き入れてくださ
い。

電話番号は志願者本人と連絡
が取れる番号にしてください。

メールアドレスは出願や入
学の手続に関わる連絡をす
ることがありますので、正
確に記入してください。

<コード表>

学部・学科	コード
法学部	16
経済学部	21
経営学部	
経営学科	35
会計ファイナンス学科	39
現代中国学部	11
現代中国学部	
国際コミュニケーション学部	
英語学科	91
国際教養学科	95

学部・学科・コース・専攻	コード
人文社会学科	
現代文化コース	
東アジア文化	41
哲学	42
図書館情報学	43
メディア芸術	44
社会学コース	
社会学	45
欧米言語文化コース	
現代国際英語	53
ドイツ語圏文化	54
フランス語圏文化	55
歴史地理学科	
日本史学	48
世界史学	49
地理学	50
日本語日本文学科	
日本語日本文学	51
心理学科	
心理学	47

学部・学科・コース	コード
地域政策学部	
公共政策	71
経済産業	72
まちづくり・文化	73
健康・スポーツ	75
食農環境	76

A

取扱店保管

入学検定料振込依頼書

振込手数料は振込依頼人様のご負担となります

送り先	三菱UFJ銀行 すすかぜ支店			振込金額	¥	3	5	0	0	0	
受取人	預金種目	普通	口座番号	1672901	振込手数料						
	氏名	ガッコウホウジン アイチ ダイガク 学校法人 愛知大学			内訳	現金					
振込依頼人 (志願者)	カナ氏名					当店券					
	漢字氏名					他店券					
	住所	□□□-□□□□ TEL - -			取扱金融機関収納印 ① 取扱期間 2026年9月18日(金) ～ 9月28日(月) 期間外取扱不可						

取扱金融機関へのお願い

1 電信扱として太枠内を打電してください。

打電内容 フ 1672901 ¥35,000 ガッコウホウジン アイチダイガク カナ氏名

2 取扱金融機関収納印を①～③に押印の上、B・C票を振込依頼人へお返しください。

3 取扱期間を過ぎたものは受付しないでください。

4 ATMでの取り扱いはできません。

報告	記帳	照合
オンライン		

(金融機関で切りはなしてください)

B

本人保管

入学検定料領収書

(兼振込手数料)

2027年度愛知大学

編入学試験

漢字氏名			
振込金額	¥35,000	振込手数料	
送り先	三菱UFJ銀行 すすかぜ支店		
受取人	学校法人 愛知大学		

上記金額を入学検定料として領収しました。

一旦受領した入学検定料は原則返還しません。

取扱金融機関収納印のないものは無効です。

取扱金融機関収納印
②
取扱期間 2026年9月18日(金) ～ 9月28日(月)

期間外取扱不可

(振込後、切りはなしてください)

C

大学提出

入学検定料振込確認書

2027年度愛知大学

編入学試験

漢字氏名			
振込金額	¥35,000	振込手数料	

取扱金融機関収納印のないものは無効です。

取扱金融機関収納印
③
取扱期間 2026年9月18日(金) ～ 9月28日(月)

期間外取扱不可

2027年度愛知大学 編入学試験

写真票

受験番号欄以外を記入の上、写真を貼付してください。

受験番号	※大学記入欄		
志願先	学 部		
	学 科		
	コ ー ス (文学部は人文社会学科のみ記入)		
	専 攻 (文学部は記入)		

※必ず「【別紙①】入学志願票」の志願先と一致させてください。

フリガナ		
氏名	姓	名
性別 (○で囲む)	男 ・ 女	

写真貼付欄

全面のり付け

提出前3ヶ月以内に撮影
上半身・正面・脱帽
縦4.0cm×横3.0cm
写真裏面に氏名・志願
学部名を記入したもの

入学検定料振込確認書貼付用紙

入学検定料振込後、別紙②のC票（入学検定料振込確認書）を貼付してください。

C

大学提出

入学検定料振込確認書貼付欄

記 入 日	2026年 月 日	
学 校 名		
フリガナ		男・女
氏 名		

受験番号	※
志願先	学 部 学 科 コー ス (*1) 専 攻 (*2)

(※1) 文学部は人文社会学科のみ記入。(※2) 文学部のみ記入。

2027年度 愛知大学編入学試験志望理由書

(800字詰：横書き)

[illegible]

〔志望理由書作成上の注意〕

- ※欄は記入しないでください。
- 黒インクまたは黒ボールペンを使用して、自筆で記入してください。
- 「本学志望の理由」「将来の抱負」等を中心に、800字以内で簡潔にまとめてください。

専修学校専門課程修了(見込)証明書

学生番号

学 科

氏 名

生年月日

上記学生は、本校において修業年限が2年以上で、かつ
課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上である
上記学科修了(見込)者であることを証明する。

(西暦) 年 月 日

所 在 地

学 校 名

校 長 名

⑩

- 〔注〕
- ※欄は記入しないでください。
 - 学校長の署名・捺印の上、厳封して本人(志願者)に交付してください。
 - 修了者については“(見込)”を二重線で削除(2箇所)し、当該部分に学校長印を押してください。

資格検定試験証明書等貼付用紙

受験番号	※
------	---

※欄は記入しないでください。

氏 名	(フリガナ)	用紙枚数
		/

/の右側に提出する資料貼付用紙の総数、
左側に何枚目か記入してください。

貼 付 欄

〔注 意〕

出願資格に該当する資格検定試験証明書等の写しをこの枠内に貼付してください。

- 1. 用紙1枚につき、資料を1枚貼付してください。
資料が複数ある場合は、本紙をコピーして使用してください。
- 2. 大きいものはこの用紙の枠からはみ出さないように縮小して貼付してください。
また、資料は重ねて貼付したり、貼付後に折り曲げないようにしてください。

速 達

切手貼付

(簡易書留速達分)

〒461-8641

名古屋市東区筒井二丁目10-31

簡易書留

愛知大学企画部入試課 行

2027年度 編入学試験 出願書類在中

差出人	現住所	〒 ー	
	フリガナ		電話番号 (志願者本人と連絡が取れる番号)
	氏名		() ー
	志願先	コース (文学部は人文社会学科のみコース記入) 学部 学科 専攻 (文学部は専攻記入)	

●以下の書類が入っていますか？もう一度確認し、□にチェックしてください。

提出書類	☐ 【別紙①】入学志願票	全員	☐ 【別紙③】写真票/入学検定料振込 確認書貼付用紙	全員
	☐ 【別紙④】志望理由書	対象者(※1)	☐ 成績証明書	全員
	☐ 履修登録書	対象者(※2)	☐ 卒業(修了)証明書または 卒業(修了)見込証明書または 在学期間証明書	全員 (※4)
	☐ 【別紙⑤】専修学校専門 課程修了(見込)証明書	対象者(※3)		
	☐ 住民票の写し(原本)	対象者(※5)	☐ 【別紙⑥】資格検定試験証明書等 貼付用紙	全員

(※1) 現代中国学部、国際コミュニケーション学部、文学部、地域政策学部志願者は提出

(※2) 出願時に履修中の科目がある志願者のみ提出

(※3) 募集要項P. 4 記載の「出願資格(3)」に該当する志願者のみ提出

(※4) 大学中途退学者または現在四年制大学に在籍し2年次までの課程を修了(見込みを含む)した者は在学期間証明書を提出

(※5) 外国籍の方のみ提出(コピー不可)

郵送出願締切: 2026年9月29日(火) <必着>

出願書類送付用宛名ラベル